

ものづくり人材育成に係る各種取り組み(新居浜市)

【取組概要】

小学生を対象に「ものづくり体験事業」を、中学生を対象に「ものづくり体験講座」を、高校生を対象に「インターンシップ」、高専生を対象に「課題解決型インターンシップ」を各年代別に事業を行っている。また、溶接技術の向上を目指した「四国地区高校生溶接技術競技会」を関係機関と連携し実施している。

人口 123,649人

担当部署 経済部産業振興課

【取組みの効果】

事業実施前と比べ、中学校や工業系高校の連携が強まり、学生の目的意識や職業観の醸成につながってきている。それに伴い、地場産業への就職者数の増加、就職後の離職率の低下が見られるなど、改善されてきている。



ものづくり体験事業

【他団体へのアドバイス】

現在は、若年層側へのアプローチを中心に事業実施を行っているが、優秀な人材の確保のためには、地元中小企業の処遇面の改善も重要な要因であることから、そういった面についても、取り組みを進めていく必要がある。

【創意・工夫した点】

地元中学校、工業系高校、機械産業協同組合、ものづくり人材育成協会、日本溶接協会検定委員会、えひめ東予産業創造センター等多くの団体との連携が重要であり、市職員がコーディネーターとして有機的な連携を深めるよう情報共有等に努めてきた。特に、中学校や高校の教諭との情報交換を密にしなければ、人材育成の目的にならないケースも見受けられる。



四国地区高校生溶接技術競技会